

新型コロナウイルス感染拡大の状況における大学の対応について（福島大学）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄
2020年4月9日（木）～10日（金）に全教員に対して「遠隔授業導入に関わる説明会」を実施した。
高等教育企画室WEBページに「遠隔授業（教員専用）」、及び「遠隔授業（学生用）」ページを設置し、遠隔授業に関する情報発信を行った。（2020年4月～）
学務情報統合システム（LiveCampus）と併用できる外部ファイルサーバを導入し、教員・学生間での資料のやり取りを行う仕組みを強化した。（2020年4月～）
「遠隔授業PCサポート室」を設置した。（2020年4月）
初年次教育において活用できる共有教材を開発し、高等教育企画室WEBページで公開した。（2020年4月～）
高等教育企画室WEBページで、遠隔授業・遠隔授業における期末試験・オンライン試験の実践事例を紹介した。（2020年7月～）
遠隔授業における教育効果・学修成果の把握を主たる目的として、「遠隔授業アンケート」を実施した。（2020年7月）
「遠隔授業の経験から見るこれからの大学教育」をテーマとした「全学FD研究会」を開催した。（2020年10月）

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄
危機対策本部会議において「新型コロナウイルスに関する学生状況調査」を実施した。（2020年4月）
令和2年度から開始された修学支援新制度に基づく支援、学内の授業料・入学金免除を確実に実施した。 【参考：根拠資料・データ】 4-2-5-20_令和2年度入学金免除・授業料免除実施額（非公表） 4-2-5-23_令和2事業年度授業料等減免事業（修学支援新制度）実績報告書内訳（非公表）
文部科学省による学生支援緊急給付金事業（「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』）は、追加分も含め、789名の学生に対して計98,000,000円の給付を行った。 【参考：根拠資料・データ】 4-2-5-31_学生支援緊急給付金申請について（ウェブサイト）
福島大学基金の枠組みを活用した福島大学緊急学生支援奨学金（5万円の貸与）を立ち上げ、後期以降に申請があった2名を含めた12名の申請があり、全員に対して貸与を行った。
福島大学基金の枠組み及び日本学生支援機構による「新型コロナウイルス感染症対策助成事業」を活用した生協コプリカへの1万円チャージを実施し、909名に計9,090,000円を支給した。 【参考：根拠資料・データ】 4-2-5-32_生協コプリカへの1万円チャージ
オンライン授業受講のための支援として、38台のノートパソコンを準備し、26台を貸し出した。
令和2年5月、6月に、学生に対する大規模な支援物資の配布を全学で実施した。その後は、物資受け入れを取りまとめている総務課と学生・留学生課で連携し、受け入れ物資の量、配付のタイミングなどを考慮しながら、小規模な支援物資配布を都度実施した。
学生寮内で感染者が発生した際は、寮内の共有スペース及び本人の居室を消毒するとともに、すぐに入院・ホテル療養に入れない場合は、学内の合宿所等に移動させ、食事補助、健康観察を行った。
留学生支援については、令和3年度前期は、来日が困難となった交換留学生（特別聴講学生）が日本人学生と共にオンラインで学修することができる環境を整え、日本人学生と留学生が英語で学修する機会を継続して提供した。また、日本語学修にあたっては、日本人学生がワークスタッフとして、オンラインで学修支援を行った。そして、オンラインを活用した国際交流イベントや留学生歓迎会を実施し、日本人学生と海外の学生の相互交流や入国時期が遅れている留学生のネットワーク形成を支援した。